

僕の想いは・・・

～意思決定支援の実践～



# Nさんの紹介



- 昭和51年生まれ（48歳）
- 療育手帳A判定 支援区分5 てんかん発作
- 生後5か月で高熱を出し2歳頃障がいの診断を受ける
- 県米卒業後、小規模作業所に通う。
- 小規模作業所後、わかとり作業所へ移行。
- 令和5年9月より 生活介護へ移行。
- ご自宅より通所され、帰りのみ送迎利用。
- なごみで移動支援（散歩）を利用。

# Nさんはどんな人？

几帳面

タオルへの  
こだわりが強い

作業が丁寧

よくトイレにいる

早歩き  
小走りが多い

食への  
こだわりが強い

色白

キレイ好き

笑顔がステキ



# 気になる行動

1. お金があれば大量に飲み物を買ってしまう。
2. 水滴へのこだわりがある。
3. トイレでの水滴が気になる。
4. ゴミ箱にペーパーがないか探す。
5. 細かなゴミが気になる。
6. お茶のコップが気になる。
7. 不調だと声が出る。



\* 解決すべき課題

1. 感染予防に対する**衛生面**
2. 水滴によるこだわりがある**行動面**
3. 興奮したとき頭打ちに対する**金銭面**

## 意思決定支援とは・・・

○意思決定支援とは、自ら意思を決定することに困難を抱える障害者が、日常生活や社会生活に関して自らの意思が反映された生活を送ることができるように、可能な限り本人が自ら意思決定できるよう支援し、本人の意思の確認や意志及び選好を推定が困難な場合には、最後の手段として支援を尽くしても本人の最善の利益を検討するために事業者の職員が行う支援の行為及び仕組みをいう。

※障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドラインより抜粋

つまり・・・

1. 本人が安心して自信を持ち自由に意思表示できるようにする。
2. 意思表示を尊重できるよう、事業所全体で取り組む体制を構築。
3. 自己決定が難しい方については、さまざまな情報把握をし、根本を明確にしながら意思及び選好を推定する。

# 所内研修を通じて（外部講師を交えて）

テーマ「意思決定支援を学ぶ」

日時：令和5年9月16日（土）15：30～16：30

参加者：職員 11人

講師：権利擁護ネットワークほうき 西部後見サポートセンターうえるかむ  
特定非営利活動法人 伯耆みらい 相談支援事業所

平林和弘 様  
福井博美 様

\*事例を交え、こだわりへの行動に対してご本人の意思を尊重しながらどのように支援していけばいいか？





## 生活環境の変化

- ・ **新型コロナウイルスによる変化**
- ・ **生活介護へ移行による変化**
- ・ **自動販売機の故障による変化**

➡ **Nさんにとってどんな生活環境の変化があったか？**

# コロナウイルス感染拡大による変化

衛生面、感染予防が課題となる行動として以下の①②がある

## ① 歯磨き

感染予防の為、利用者の歯磨きを現在休止にしているが、ルーティンになっており止めることができていない。



ここで食後に歯磨きを行う。  
手洗い場の上が水で濡れているのが気になるようで、素手で拭くことがある。

対応策

現在は利用者が帰った後、職員が除菌を行っている。

## ②衛生面

ゴミ箱からのゴミ(ペーパータオルやティッシュ等)の取り出しや落ちていたゴミを拾うことが止められない。



作業所にゴミ箱が計4つ。紙類を取り出すことが多い。



作業室や廊下、トイレなどに落ちていたゴミを拾ったり、トイレの便器を素手で拭うこともある

対応策

- ・ゴミ箱を蓋つきに変更。
- ・早番の職員がゴミを回収する。

### ③フレッシュ（自動車部品）資材の減少による影響

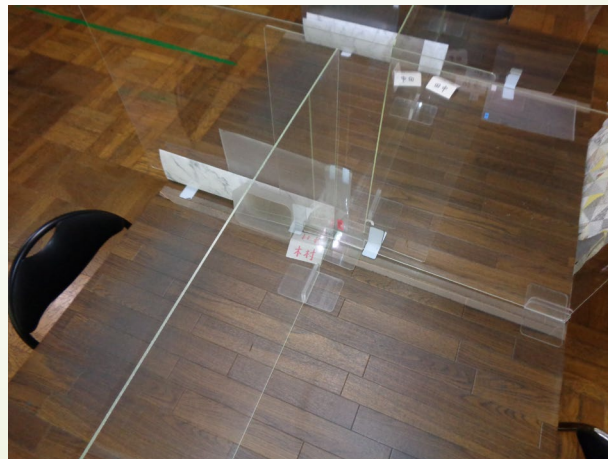
新型コロナウイルス拡大初期の令和2年～3年にフレッシュ資材が大幅に減少。その為、作業の無い空き時間ができて不調に繋がった。

**対応策**

・フレッシュ以外の新しい作業の導入

### ④影響が見られなかった環境の変化

- ・マスクの着用
- ・作業テーブルや食堂のテーブルのパーティションの設置
- ・テーブルや公用車の除菌



# 生活介護移行による変化

- 作業ペースの低下→細かい資材への苦手意識
- 離席の増加 →1枚仕上げるごとに離席  
多い時は1枚の途中でも離席あり
- 声が出る →週末は特に資材残りが気に入らず声が出る  
(不安定さが見られる)

作業意欲の低下

作業への拘り

ルーティンの一部

# 月：納品ドライブ

⇒音楽・散歩・本



- 月2回のバイタルチェックはスムーズに受けている
- 納品ドライブでは休憩のお茶時間が気になり車中で声が出る
- 納品先の使用禁止トイレに入ってしまう拘りがある
- 不人気のため

⇒音楽・散歩・本に変更する

月2回バイタルチェック

## 火：創作活動



- 月1回クッキング
- 創作活動は好まず、塗り絵や絵合わせをする
- 離席多く、作業室やトイレを行ったり来たりしている

## 水：体操・DVD鑑賞



- DVD体操に参加することはない
  - 童謡を聴くこともあり、表情よく嬉しそうにする
- ⇒音楽は好きな様子

## 木：ドライブ・ウォーキング



- 声掛けから出発までに15分程度時間がかかり、表情険しく声が出る
- 声が出る原因
  - ⇒ 携行したお茶が目に入り気になったか...
- **対策として**
  - ⇒ お茶を目に入る場所から移動する
  - ⇒ 早めに出掛ける声掛けをする

## 金：ビーズ遊び・ボッチャ



- ビーズ遊びはせず、塗り絵をする
- 塗り絵はあると塗ってしまわないと気が済まない
- ボッチャはその日の気分で参加したり、しなかったり



# まとめ

- ➡ 今までのフレッシュ作業を午前中に組み込み、混乱なくスタートできた。
- ➡ 午後からは週間スケジュールを作成し、大体の予定の流れを作り、曜日ごとに内容理解を深めた。
- ➡ すべてに参加できる内容ではなく、無理なく参加の声掛けをした。

2024年 1月 のびのび班予定表

午後の 日中活動 日	音楽・散歩 本 月	創作活動 火	体操 DVD鑑賞 水	ドライブ ウォーキング 木	ビーズ遊び 金	土
	1	2	3	4	5	6
	年始休暇	年始休暇	年始休暇	初詣 (天候によっ て中止する場 合あり)		自由通所日
7	8	9	10	11	12	13
	成人の日	健康診断 足立さん 13:30~		お茶会		自由通所日
14	15	16	17	18	19	20
	バイタル チェック 13:30~					自由通所日
21	22	23	24	25	26	27
		クッキング				自由通所日
28	29	30	31			
	バイタル チェック 13:30~					

今月は元旦、祝日がある為、  
バイタルチェックの日に一部  
変更あります。

バイタルチェック・毎月第1、第3月曜日 月2回 13:30~14:00頃  
場所：わかとり営業部屋 6名全員

健康診断・毎月第2火曜日 13:30~14:00 内科：細田先生  
場所：祥福園

健康診断予定	10月	伊築さん	済
	11月	柴田さん	済
	12月	矢倉さん	済
	1月	足立さん	
	2月	野口さん	※ドクターの都合で日程が急遽変更する場合があります。
	3月	前田さん	

# 自動販売機故障での行動の変化について

	11月10日	11月11日	11月13日	11月14日	11月16日	11月21日	11月30日	12月1日	12月4日	12月5日	12月6日	12月7日
頭打ち												
興奮	1											
声	1	1										
中身仕分け				1	1	1	1	1		1	1	
残留物を飲む										1		



蓋を取り、中身を入れ替え

ペットボトルの入れ替えが始まる

- 1、紙コップ自販機故障を理解し始めたころ、空き缶入れの中身を移し替える行為が見られる。
- 2、毎朝、移し替える行為があるため、見えない場所へゴミ箱の撤去をする。
- 3、空き缶入れ撤去後、翌日に中身の移し替えはあったが、以降気にすることはあっても移し替える行為はなくなる。

空き缶入れや中身を全て撤去

食堂自販機  
¥110～¥130



わかとり玄関付近  
自販機  
¥110～¥140




# 【本人の行動と考察】

## 本人

- ▶ ジュースが買えないと興奮する。
- ▶ ゴミ箱の中から、ペットボトルを入れ替える行動が見られる。
- ▶ ペットボトルの残物を飲んだりする。
- ▶ 一定の金額で買えないため、財布にお金が残りに不調になる。
- ▶ 他者のロッカーをお金が無いか開けてしまう。
- ▶ お金を見つけると飲み物を購入してしまう。（お釣りの取り忘れなど）

## 課題に対する考察

- ▶ 外の自販機を選びジュース2本を購入する事で落ち着く。
- ▶ 財布に残金がある場合は職員が回収し、見えないように封筒に入れて、車から降りたら渡すようにする。
- ▶ 財布以外でも、釣銭口にお釣りの取り忘れがあると使用するため要注意をする。
- ▶ 職員がお釣りを早めに回収し別の入れ物に入れる事で、不調の原因を減らす。



## 課題に対する考察

### ①本人の変化

頭打ちが少なくなった。

お金が残っても不安定にならなくなった。

見通しを持って行動出来るようになった。

### ②意思決定支援で得られたもの（支援側）

表情や声を観察するようになった。

見通しが出来るような声掛けが出来るようになった。



# まとめ

どの利用者の方も、生活環境の変化とともに気持ちの変化も見られ、今までなかったこだわりを始めることもあります。

職員は、日々の気持ちに気を配り、行動を見て何を想っているのか理解出来る存在でありたいと思います。



ご清聴ありがとうございました。